

16. 京都府内の沖縄戦戦没者について

廣野 勝

1. 調査概要

ACTR 事業「戦争の記憶の記録化と次世代への継承の仕組み構築」（研究代表：上杉和央）は、戦後 80 年が近づく中で戦争体験者や遺族、帰還者などに調査を実施する最後の機会と捉え、戦争の記憶を記録として残し、展示や平和学習を通して次世代に継承していく取り組みを構築していくことを目的としている。ここでは 2024 年 1～12 月までの活動を報告する。

以下の日程で聞き取り調査を実施した。

- ・日時：2024 年 2 月 16 日、場所：京都市西京区、インフォーマント：S 氏、
調査者：奥谷三穂（共同研究員）、山下悠衣奏（4 回生）
- ・日時：2024 年 3 月 8 日、場所：宇治市、インフォーマント：O 氏、
調査者：奥谷三穂、藤田尚希（4 回生）
- ・日時：2024 年 3 月 10 日、場所：城陽市、インフォーマント：N 氏、
調査者：奥谷三穂、藤田尚希
- ・日時：2024 年 3 月 14 日、場所：京都市右京区、インフォーマント：N 氏、
調査者：奥谷三穂、廣野勝（4 回生）
- ・日時：2024 年 3 月 14 日、場所：京都市中京区、インフォーマント：U 氏、
調査者：奥谷三穂、廣野勝
- ・日時：2024 年 12 月 5 日、場所：京田辺市、インフォーマント：H 氏、
調査者：奥谷三穂、山下悠衣奏、芝田祐希（2 回生）

2. 成果

2024 年 2 月 7 日には長岡京市立長岡第 4 中学校で中学 2 年生を対象に平和学習のための講演を実施した。また、府内 6 自治体を会場に調査成果の一部を展示することが決定し、昨年の京都府出身者の沖縄での戦没場所のマッピング作業をもとに、展示に用いるための地図を改めて作成した（図 1）。展示の日程と会場は以下の通りである。

- ・日時：2024 年 7 月 13 日、16 日～29 日、場所：長岡京市中央公民館（写真 1）、長岡京市役所
- ・日時：2024 年 7 月 20 日～9 月 8 日、場所：南丹市日吉町郷土資料館
- ・日時：2024 年 7 月 27 日～9 月 16 日、場所：京丹後市立丹後古代の里資料館
- ・日時：2024 年 8 月 1～31 日、亀岡市文化資料館（写真 2）

- ・日時：2024 年 9 月 13 日～10 月 10 日、京田辺市立中央公民館
- ・日時：2024 年 9 月 19 日～11 月 4 日、舞鶴市郷土資料館

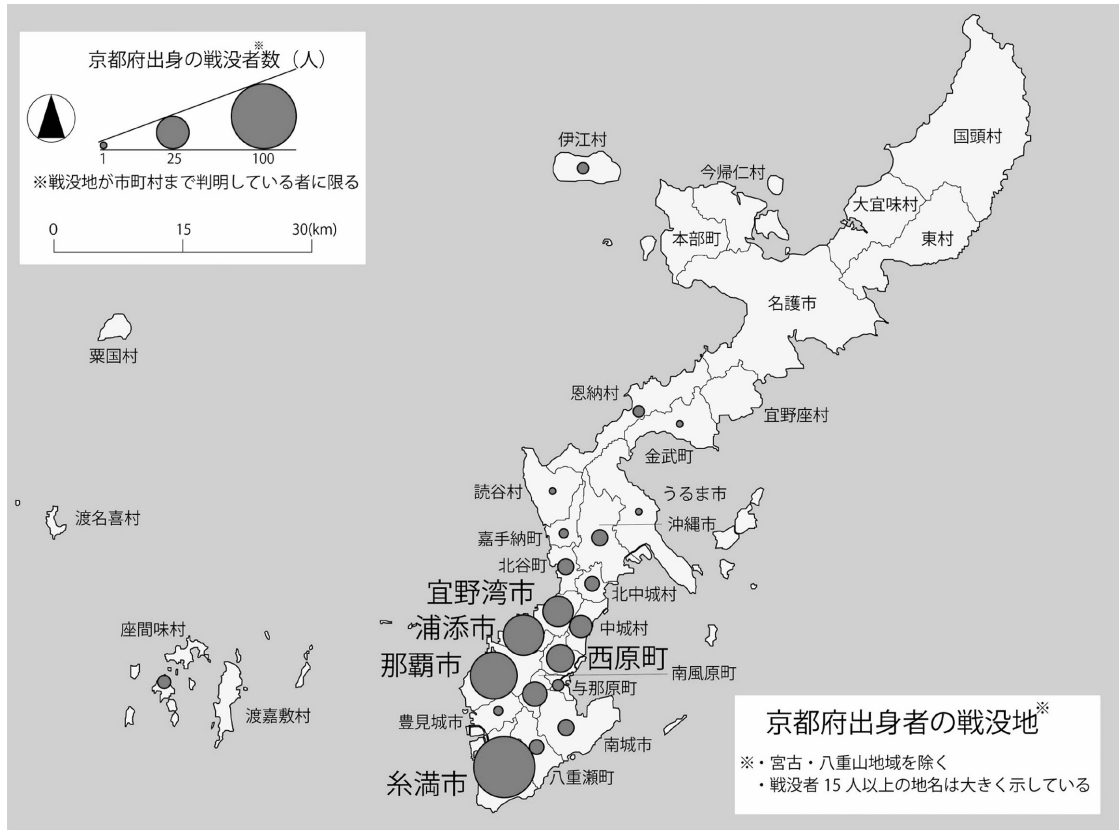


図 1 京都府出身者の戦没地（藤田尚希作成）



写真 1 長岡京市中央公民館での展示
(2024 年 7 月 13 日、奥谷三穂撮影)



写真 2 亀岡市文化資料館での展示
(2024 年 8 月 11 日、奥谷三穂撮影)

編集後記

余裕をもって仕事に取り組みたい。一つ仕事が終わる度に今度こそはと思うが、今回も果たせなかった。文字通りバタバタ。年末から長い師走が続いている。一つの救いは、春からのフィールドワークに始まり、冬の集報に終わるこの一連の営みが、10号を越え、府大歴史学科の伝統として根付きつつあること。フィールドをご提供いただいた関係各所のご厚意に深く感謝申し上げたい。

なお本書の組版作業は、歴史学科文化遺産学コースの合同実習メニューとして学部生が Adobe 社の InDesign を利用しておこなっているが、もちろんそのままでは本にはならない。一書にまとめるにあたって力を尽くしてくれた大学院生の頑張りにも深く感謝したい。(い)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第 11 号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒 606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2025 年 3 月 31 日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒 606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
